

前回に引き続き今回も特別号と題して「抱えない介護」を特集しつつ制作者の私北口が体験取材を行いその感想なもお届けしようかと思います。

今回は大掛かりなアイテムになりますが「リフト」を紹介したいと思います。



リフト体験の感想

職員さんが言うように身体にチカラを入れずに預けた状態で説明を受けながらのリフト体験最初は吊るされるのに違和感がありましたが、慣れてくると楽しさもありました。

足を着地できるまで下げるから足の訓練の補助としても使えるようで、自分の足でゆらして楽しく足の訓練です！！

(北口の感想)

ちなみに従来というか職員さんが抱えあげる移乗も説明体験してその違いを感じました確かに抱えあげる場合は抱えあげる人も多少なりともチカラが要りますし抱えてもらう側もチカラが必要なときもある。そしてそのまま転倒するというようなリスクもあります。ですが、このリフトのやり方を覚えたら僕のような歩行困難者（起立困難）でも椅子に座った状態で他の利用者さんを移乗させてあげる事が可能だそうです。



**スライディングシートを使うことで
かかとの摩擦を軽減！**

抱えない介護の目的とは？

職員の誰もが安心して安全に働く職場づくりとともに、対象者も安全で安心してケアを受けられる職場を作る事が目的です。症状が重症者に限定されたものではなく、福祉用具を使用するケア限定のものでもありませんこの取組は持ち上げ・抱え上げ引きずりなどのケアを廃止することと、不良姿勢で行われる作業など職員の体に負担のかかる作業全てにおいて見直しを図るためのものです。

(資料パンフレットから引用)



制作者挨拶

今回のアイテムが1番大掛かりかもしれませんのが必須アイテムだと思いましたまだまだご紹介できるアイテムがあります！次回は「スライディングシート」について紹介したいと思います。